



成隣だより

令和8年2月27日
第11号
昭島市立成隣小学校
校長 松川 靖弘
TEL 042-541-0068



HPはこちら

「さよなら」は、新しい自分への「こんにちは」

校長 松川 靖弘

校庭の隅に咲く梅の花が、凜とした空気の中で芳しい香りを漂わせています。厳しい冬の寒さに耐え、どの花よりも早く春を告げるその姿に、いよいよ別れと旅立ちの季節、三月を迎えることを実感いたします。



本校では、毎年全学年でクラス替えを行っております。この時期、子どもたちの心には「今のクラスと離れるのが寂しい」「新しい環境になじめるだろうか」という戸惑いや不安が少なからずあることでしょう。多感な時期だからこそ、住み慣れた場所や気心の知れた仲間との別れは、大人以上に重く感じられるものです。しかし、私はこう考えています。「さよなら」という言葉は、決して終わりを告げるだけのものではありません。それは、次に待っている素晴らしい出会い、つまり新しい自分への「こんにちは」を迎えるための、大切な心の準備なのです。

この一年間、ご家庭や地域で温かく見守られ、お子さんが手にした「積み上げた自信」を、どうぞ大切にしてください。苦手だった教科に粘り強く取り組んだこと、勇気を出して友達に声をかけたこと、行事で仲間と手を取り合い最後まで走り抜いたこと。それら一つひとつの経験が、次の一步を踏み出すための揺るぎない力となります。冷たい風の中で蕾を膨らませた梅が、今こうして気高く花を咲かせたように、子どもたちも別れの寂しさを乗り越えることで、一回り大きな心へと成長していくはずです。

保護者・地域の皆様、この一年間、本校の教育活動に多大なるご理解とご協力を賜りましたこと、心より感謝申し上げます。登下校時の見守りや、温かな励ましのお言葉が、どれほど子どもたちの、そして教職員の励みになったか計り知れません。修了式、そして卒業式。子どもたちが「さよなら」の向こう側にある希望に満ちた「こんにちは」を、最高の笑顔で迎えられよう、教職員一同、最後まで精一杯の愛情と誠実さを持って導いてまいります。

やわらかな春の日差しに包まれながら、子どもたちが力強く羽ばたく姿を、これからも地域全体で共に見守っていきましょう。

SNSで広がる新たな世界

進級・進学を控え、お子さんのスマートフォン購入を検討されているご家庭も多いことでしょう。世界が広がる楽しみ一方で、使いこなせるか不安を感じるのも親心です。スマホを渡す際は、ぜひ「買い与える」のではなく、「自立のための道具を貸し出す」という意識を持たせてあげてください。

ルールは「親子」で作る：一方的な制限ではなく、なぜそのルールが必要か話し合い、納得感を持たせることが大切です。

失敗を隠さない関係を：トラブルに遭った際、すぐに相談できる「家庭の温かさ」が最大の防波堤になります。

便利な道具を正しく操る力は、これからの時代を生きる知恵となります。ご家庭での一步を、学校も応援しております。

